

公共下水道全体計画を 見直しました



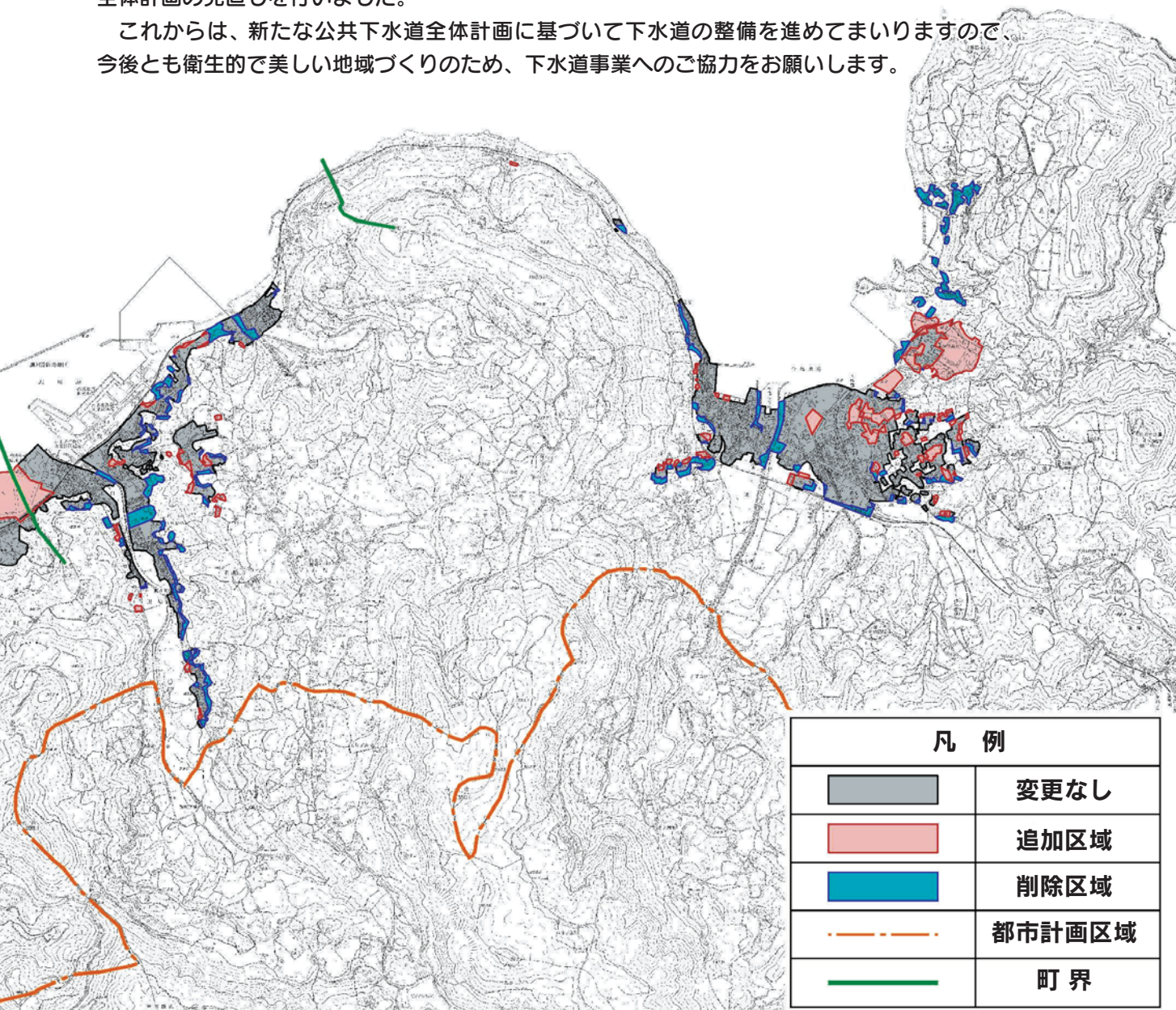
◆ 下水道のマンホール蓋デザイン ◆

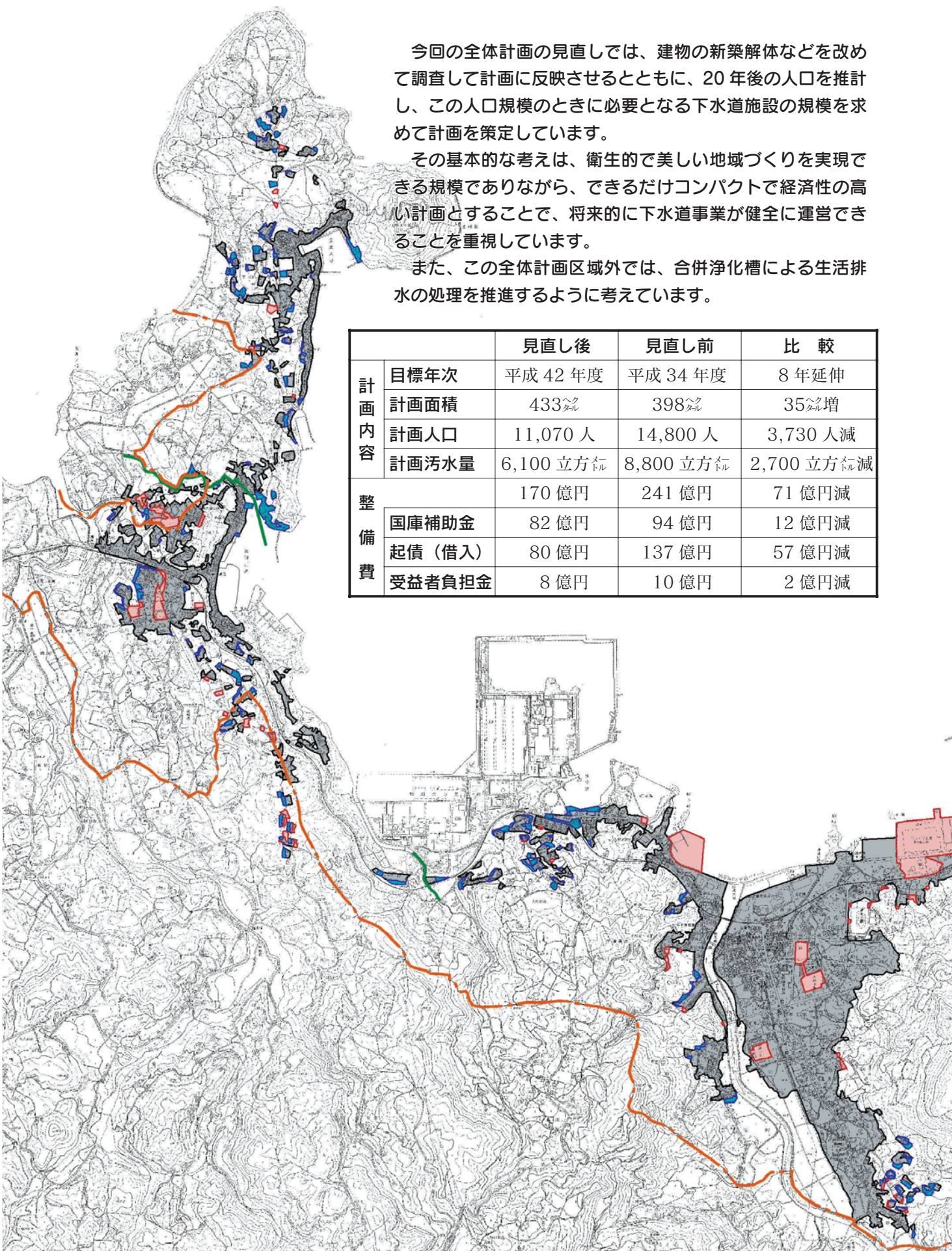
○問合せ先 上下水道課下水道業務係 ☎内線 184

御厨・星鹿・志佐・調川・今福地区の市街地を計画区域として、現在整備を進めている公共下水道事業については、平成 12 年度に策定した全体計画に基づいて実施してきました。

しかし、計画策定から 10 年以上が経過し、計画策定当初からすると社会情勢も大きく変わり、少子高齢化や人口の減少が今後も続くと考えられることから、事業規模の適正化を図るため、全体計画の見直しを行いました。

これからは、新たな公共下水道全体計画に基づいて下水道の整備を進めてまいりますので、今後とも衛生的で美しい地域づくりのため、下水道事業へのご協力をお願いします。





今回の全体計画の見直しでは、建物の新築解体などを改めて調査して計画に反映させるとともに、20年後の人口を推計し、この人口規模のときに必要となる下水道施設の規模を求めて計画を策定しています。

その基本的な考えは、衛生的で美しい地域づくりを実現できる規模でありながら、できるだけコンパクトで経済性の高い計画とすることで、将来的に下水道事業が健全に運営できることを重視しています。

また、この全体計画区域外では、合併浄化槽による生活排水の処理を推進するように考えています。

		見直し後	見直し前	比較
計画内容	目標年次	平成 42 年度	平成 34 年度	8 年延伸
	計画面積	433 [㍉]	398 [㍉]	35 [㍉] 増
	計画人口	11,070 人	14,800 人	3,730 人減
	計画汚水量	6,100 立方 [㍉]	8,800 立方 [㍉]	2,700 立方 [㍉] 減
整備費		170 億円	241 億円	71 億円減
	国庫補助金	82 億円	94 億円	12 億円減
	起債（借入）	80 億円	137 億円	57 億円減
	受益者負担金	8 億円	10 億円	2 億円減